

知事表敬

「成果を短命県返上に」

弘大 文科大臣賞受賞を報告



三村知事（右）に文科大臣賞受賞を報告する若林氏（中央）と村下氏

短命県返上のため、岩木地区住民から収集した健康に関するビッグデータを活用し、全国の12大学や企業と連携して健康意識向上や健康産業市場活性化に寄与したことが認められた。

弘大理事（研究担当）・副学長の若林孝一氏と、COI副拠点長・健康未来イノベーションセンター企画戦略部門長の村下公一氏が三村知事に受賞を報告した。

弘前大学COI研究推進機構が「岩木健康増進プロジェクト」を軸に取り組む事業が、地域の優れた産業支援の取り組みを評価する「イノベーションネットアワード2020」の文部科学大臣賞に輝き、関係者が10月27日、県庁を訪れ、三

村申吾知事に受賞を報告した。

全国イノベーション推進機関ネットワークなどが主催。受賞事業名は「健康ビッグデータをハブに産学官金民の強固な連携で新産業創出を目指す弘前大学『寿命革命』プロジェクト」。

同事業はこれまでに内閣総理大臣賞、総務大臣賞も受賞しており、村下氏は「三つ目の大臣賞受賞で、評価を頂き、うれしい。これまで得た成果を短命県返上と健康づくりに役立てたい」と述べた。（山本恵子）